



2023年6月15日第461号  
全日本年金者組合京都府本部  
〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13  
☎ 075-761-3213 FAX 075-761-3214  
mail nenkin-kyoto@iaa.itkeeper.ne.jp  
発行責任者 山本和夫

# 岸田首相は、核兵器禁止条約を早期批准せよ

## 核兵器容認「広島ビジョン」では「核」はなくなる

府本部常任執行委員会は、5月30日、熊野神社前で街頭宣伝行動を実施し、岸田政権の大軍拡・大増税に反対。核兵器禁止条約の早期批准を大きな声で訴えました。

とりわけ広島市で開催された主要7か国首脳会

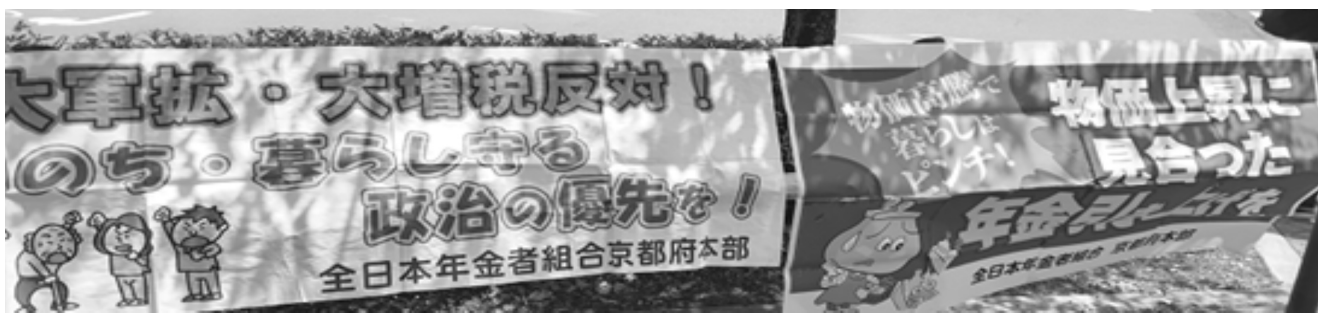


上 熊野神社前で訴える  
山本委員長  
右 藤原副委員長は  
外国の方に訴え

議(G7サミット)の「広島ビジョン」は、被爆者や国民が願う核兵器廃絶に背を向け、核兵器使用容認の「核抑止論」を正当化する、許しがた内容です。被爆者や反核・平和団体は核兵器廃絶に向けたメッセージが出されるのではと期待されていましたが、岸田首相は核兵器の使用を認める「核抑止論」で核兵器廃絶の要求を拒絶しました。

大軍拡に要する費用は、5年間で43兆円、ローン払いを約束した費用も含めると実際は60兆円近くになるとの報道もされています。

軍費は大幅に増加させる中で、福祉は削られます。こんな政権にはすぐにも退陣してもらい、いのちと暮らしが守られる政治をつくっていきましょう。



大軍拡・大増税にも反対!  
物価上昇に見合った年金額の支給を!

### 夕映え

「それでも地球は回っている」ガリレオが裁判にかけられた時につぶやいた言葉▼京都市報という週刊新聞5月25日号が女性のくらしアンケートについて大きく取り上げてくれました。3人の女性組合員の、自分の生涯も日々の収支も赤裸々に示しての告発を読んで、「具体的な事実の力」を痛感しました。これがあってこそ全体の主旨も伝わるなとしみじみ思いました▼そして5月26日の高裁判決報告集会で森川弁護士、原告代表の楠さん、生存権裁判の森田弁護士の話を聞きながら、改めて思いました。裁判所がどう言おうと法律がどうであろうと、「事実」は厳然としてある▼「それでも私たち年金で生きていけないのです!」 (K・A)

# 年金下げるな 全世代の声

## 「高裁判決報告集会」低年金を告発

### 最高裁包囲「怒りの人間の鎖」行動



5・26大阪高裁  
判決報告集会開催

大阪高裁での不当判決を受けて、「年金裁判」に勝利し年金制度をよくする京都の会が主催する報告集会が5月26日、ラポール京都第12会議室で行われ、原告・支援者52人が参加しました。

梶川憲京都の会代表が挨拶、森川明年金裁判弁護士団長の報告、特別報告として生存権裁判を闘っておられる森田基彦弁護士が地裁で勝利判決を勝ち取っている状況を詳細に報告、年金裁判と生存権裁判はどちらも大切な裁判なので共に闘って頑張ろうと締めくくられました。

会場からは5人の方が発言され、低年金で暮らしが成り立たない発言があり、最低保障年金制度の創設が必要さを痛感しました。

原告団を代表として楠原告団事務長は、判決に対する声明文を読み上げ、今後の運動の報告を行いました。

今後の運動の提起は次の通りです。

【最高裁での全国的獲得目標】  
①事件を大法廷に回付して統一した憲法

判断求める。

②堀木訴訟の「壁」を打ち破る。憲法25条を活かした判断と年金生活者の実態を認識させる。

③国際的な人権水準を踏まえた憲法解釈を求める。の3点です。

【今後の運動】

①高裁への要請行動を強める。「大法廷回付を求める要請署名」をすすめる。急いで全力で強めます。全国目標は5万筆です。京都はまだ1074筆です。

※「大法廷に回付を求める署名」を再度各支部に下ろします。

②団体署名と「長官への手紙」もとりくみます。③最高裁要請行動にも取り組みます。

④宣伝活動を広げます。具体的には、6月15日の「支給日宣伝」を全支部でとりくむことが提起されました。6月15日、本部・支部27カ所、何としても宣伝・署名行動を成功させましょう。

⑤世論を高め、国に圧力をかけるために、「年金・雇用署名2023」を正面に据えとりくみます。目標は、全国50

万筆!! 最終12月末!! 2024年通常国会に提出予定

⑥最後に、数は力! 当面の「月間」で飛躍し、「右手の署名、左手に拡大の訴え」で一日も早く6000人府本部を実現し、最高裁逆転勝利を実現しよう。

年金裁判判決報告集会と最高裁包囲人間の鎖行動に参加して

楠 晤副委員長

5月22日午前11時すぎ、最高裁判所正門付近には1都33府県の年金者組合の代表200余人が参集しました。参加者全員が手をつなぎ、正門から西門付近まで約300mの



最高裁を包囲する人間の鎖ができあがりました。

主催者挨拶、弁護士団の報告、最初に上告された山梨県団長の決意と訴えなど、最高裁に向けて「大法廷回付で憲法25条に基づく正当な判決を」との声を上げました。最高裁を人間の鎖などで直に訴える行動は史上初めです。

午後からは、参議院会館講堂に場所を移して「怒りの決起集会」が行われ250余人が参加しました。

裁判報告では、最高裁を闘う上での獲得目標、計画も語られました。

その後、全国11ブロックを代表して代表が決意表明を行いました。なお京都は山本委員長が「ゼネストも辞さない闘いの決意」を表明しました。

集会は最後に「5・22『最高裁包囲』・『決起集会』を起点に、6・15年金支給日に最大・最高のとりくみで、「日本列島騒然」たる事態をつくりだそう」との集会アピールを採択し、団結ガンバロー三唱で締めくくり終了しました。京都からは山本委員長と楠副委員長が参加しました。

### こんな政治はイヤ

マイナンバーカードで国民  
総背番号制・コロナ感染症  
自己責任化・年金引き下  
げ

全国各地で、コンビニでの住民票誤交付、「マイナ保険証」の情報登録の誤りに続き、公金受け取り口座とのひも付けでも誤登録が判明するなど、マイナンバーカードを巡って、個人情報流出につながるトラブルが続出している中での採決強行です。

て、本人から「不同意」の回答がなければ同意とみなされる仕組みも導入されます③マイナンバーカード所持を国民に強要し、個人情報の収集を通じて国民監視を強めようとしている(国民総背番号制)。

### 健康保険証の廃止・マイナンバー法等改定案の採決強行に断固抗議する

保険証を廃止しマイナンバーカード取得を強要するマイナンバー法等改定案が6月2日、参議院本会議で自民・公明・維新・国民の「悪政4党連合」によって強行採決されました。

「マイナンバーカード」には多くの問題点があります。①資格確認証は1年未満の期限で、健康保険証の有効期間2年から短縮される。また、健康保険証の発行は、法律上も国民に保障された権利で、保険者の義務ですが、国民の自己責任(申請)になります②マイナンバーと年金などの公金受取口座のひも付けについ

て、本人から「不同意」の回答がなければ同意とみなされる仕組みも導入されます③マイナンバーカード所持を国民に強要し、個人情報の収集を通じて国民監視を強めようとしている(国民総背番号制)。

### 物価高騰に見合った年金額に再改定を!

府本部 森脇芳男

物価高騰が続く中、6月の年金支払い分から年金が1.9%引き上げられた。

しかし、1.9%は昨年度の

### 投稿

物価上昇率(総務省公表)であり、1月以後の物価

高騰分は一切配慮されていません。さらに、昨年12月と前年12月の物価上昇率の比較を総務省が行っていますが、食料品では7.0%増、電気代21.3%増、ガス台23.3%とされています。

高齢者が消費する年金のほとんどは食費と光熱費、医療費・衣服費などです。物価の上昇率1.9%とはかけ離れた声の大きさを支給せよの声を大きくしていきましょう。

皆保険の原則です。

年金者組合は、国民保険制度を揺るがし、医療から国民を遠ざける「マイナンバー法等改定案」の採決強行に向けて怒りを込めて抗議する。

(年金者組合中央本部「抗議声明」から抜粋)

### 〈投稿〉

「コロナ感染症」2類から5類に変更

右京支部 丹所紀代子 (元看護師)

コロナが5類に移行して、「ホッ」とすると同時に「緊張感」に包まれている。マスクを外せることで、

息苦しさからの解放、唾液が出るようになるし、皮膚荒れが治る。会話がスムーズに伝わる、咳を遠慮なくできるなどなど。生理現象と社会現象の、あたり前のことがこれほど大切だったとの「ホッ」である。

一方5類にかわってもウイルスそのものが変わるわけではなく「新型」ウイルスの進化は今後如

何に?! 生理現象にどんな影響を与える? との心配・緊張が起きている。また、検査や受診の公費負担がなくなる医療費の不安、医療機関の受入れ態勢が縮小する、観光客が増えて暴露の機会が拡大するなどの緊張が出てきています。

いずれにしても自己防衛が欠かせないと思う。それには①体調に症状や不安がある場合は、即、医療機関にかかる。②むやみに人混みには出歩かない③(正しい)手洗いと喚気の励行の徹底。特に密閉・密室・密集は避けることを習慣にする④その場に応じたマスクと咳エチケットを行う⑤適度な運動と食事、十分な睡眠に気を付けることが自己防衛になると思います。

## 第35回定期大会

2023年6月30日  
(金) 13時~16時  
ラポール京都2階ホール  
中京区壬生仙念町30-2  
四条御前バス停前



補聴器国への意見書 京都府が全会派一致で採択(2022年12月) 記者会見の様子

# 補聴器の公的補助を求める 京都府内の運動

この1年間、補聴器の公的補助を求める京都府内の運動は大きな変化が起こり、各地域でもとりくみが広がっています。

昨年、京都市議会が国に對

する補聴器購入時の公的補償の意見書を全会一致で採択しました。12月には、福知山市と京都府が全会一致で採択しました。

京都府が国への意見書を採択したことは府内の運動に弾みもつけました。

亀岡市では、亀岡では年金者組合や社保協等7団体で連絡会を結成し、補聴器の公的補助を求めて一昨年から活動をすすめてきました。署名目標を3000名に設定し老人

会にも協力をよびかけられています。城陽市でも難聴協とも対話が進んでいます。京田辺市では「社保協で市と懇談、補聴器アンケート調査4000人を約束させた」との報告もあります。右京区では、学習会に50名が参加するなど運動がすすみました。

そのような運動の中、4月には自治体による公的補助が実現しました。京丹後市(4月号の年金者しんぶんを詳細を報告済)と精華町です。このような助成制度は全国でも188自治体に広がっています。

自治体議会に対する国への意見書採択運動や自治体によ

る助成制度をすすめていく運動を6月以降も強めていきます。

まず、7月19日(水)、13時30分から教文センター203号室において、運動をすすめていく学習会を実施します。また、各地域で請願運動がすすむよう、全府的な申し入れ運動も検討しています。

## 宮津市議会・与謝野町議会が採択

与謝宮津支部 片山清

宮津与謝支部では、2020年に、年金者組合宮津与謝支部・新婦人支部・与謝社会保障推進協議会の三者で、国に対して加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の「要請書」を宮津市、与謝野町、伊根町の各自治体に行いました。結果、宮津市与謝野町では議会で採択されました。

以降3年が経ちましたが、支部も高齢化し各自治体への公的補助運動が思うようには進んでいません。

何とか議会への運動ができるように取り組みたいと検討しています。

## 亀岡 連絡会で市会要請6月採択めざす

亀岡支部 小川正

亀岡では年金者組合や社保協等7団体で連絡会を結成し、補聴器の公的補助を求めて一昨年から活動をすすめてきました。

現在、6月市議会に向けての請願署名活動を柱に取り組みをすすめています。

署名目標は3000名。なかなか大変ですが、連絡会構成員のつながりでの署名、老人会や連絡会参加外の団体への働きかけとあわせて毎週土

曜日、時間を交えてのスーパー前宣伝を3月26日から5月29日まで8回継続して行ってきました。「補聴器の購入時の公的補助を求める署名にご協力を」と大きく書いた模造紙に手書きの可愛いイラストを張り付けた看板を首からぶら下げて署名を呼びかけています。反応は良く高齢者だけでなく中年の人や若い人も署名に応じてくれます。

連絡会では6月市議会に向けて、8日に署名を添えての請願提出、9日に会派訪問、26日に市民環境厚生常任委員会での陳述などを予定しています。

## 「補聴器」問題 運動交流学習会

2023年7月19日(水)  
13時30分~  
教文センター203号室

- ・京丹後市の取り組みを報告 丹後支部 山添善明書記長
- ・各地域の運動、取り組みの交流

みなさん是非ご参加ください!

